

公立保育所再配置計画たたき台に対するグループ討議内容

【6/18 大佐和地区】

A グループ

意見
<ul style="list-style-type: none">・ 民間小規模保育園の誘致を検討（19名定員）・ 施設を継続使用するのか？・ 19名定員だとスペースが余ることが予想される。どのように利用するのか？・ 保育時間をどのくらいと想定しているのか？・ 送迎用の駐車場の確保は必要だと考える。 <p>(全体として)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 保育士の確保についての具体的な方策

B グループ

意見
<ul style="list-style-type: none">・ 保育士はいずれ再配置となるのではと感じている。子どもの数は減っている。再配置は妥当かなと考えている。今17名（0～6歳まで）少ない。・ 新規職員も採用しているので、大切にしたい。・ 理想として1つの保育園で保育していくこと、続けて育てることが望ましい。・ きょうだいがいる場合、バラバラの施設となる。・ 佐貫には昔は（保育所が）2つあった。・ 1,2歳の子どもと3歳以上の子どもの指導は違う。個への対応（0～3歳）←本来は家庭で。・ 佐貫の保護者のニーズがあるから、必要⇒保護者のニーズ⇒育てるのが良い。・ 大佐和はいろいろな所や園があって飽和状態。民間でできてしまう可能性もある。今は進んで預ける時代。・ 私立が競争。公立は合併して残していくのもよいのでは。公立の良さもあるのでは。

- ・民間を入れる←応募はあるかな？市の財政状況は分かるが。
- ・私立は特色を出して、生き残りをかけてやっている。公立は佐貫と吉野を合併して、地理的にも統合が自然かなと感じる。1つ残すのも手かなと思う。
- ・集団の中で育つことが大事。小学校へつながる。
- ・3歳以上はある程度の集団の教育は大切。20人くらいの中で遊びなどで学んでいくのは大切。
- ・集団で育てようという中で、吉野保育所の50人規模は？
- ・保育士が足りない。応募がない。・・・確保の方法を。就職について・・・
- ・ベテランが退職し、若手採用。辞める保育士が多い。地元で働きたい保育士を育てる。
- ・長く勤めていくには公立の方が福利厚生もよいと思う。
- ・研修 今5年間で1人前になれるように、やりがいを見つめてもらう。サポートしてあげたい。民間は民間、公立は公立…
- ・富津市の幼児教育の研修や指針などがあるとよいと思う。
- ・民間化することは市として民間と公立とのバランスが大事だと思う。
- ・市の幼児教育を保障していくことが保護者も安心だと考える。
- ・市は公立でも民間でも同じように良いところを示してもらえると助かる。
- ・ビジョンとして示して、保護者を安心させたらと考える。
- ・公でも民でも良いところを示すとよい。
- ・企業の保育所とかのタイアップは？

Cグループは次ページ

C グループ

意 見

- ・ 佐貫地区の未満児の受け皿として、必ず小規模園は必要なのか？
- ・ 送迎ステーションとしての機能をもう少し明確にして欲しい。
- ・ 未満児→以上児になったときに希望の園に行かれるか不安。
- ・ きょうだいがいる場に不安がある。
- ・ 送迎バスを使用する場合の安全面の確保をしっかりとってもらいたい。
- ・ 大佐和地区4施設が以上児の受け入れ先としてあるが、それぞれにバスが寄ってステーションに行くと時間がかかるのでは。
- ・ 保育所は地元密着のものなので、佐貫地区に関してはそのまま良いのでは。
- ・ 吉野保育所が民間移行した場合に50名では経営が続けられないのでは。
- ・ 青堀保育園の新しい事業者が決まり、定員が増加になっていくことによって吉野保育所の在り方が変わってくるのでは。

※意見に対する市の考えや質問への回答は改めて作成します。